



インダストリー

コンポーネント事業の収益力向上を図ります。
強いコンポーネント創出とソリューション提案により、
グリーントランスフォーメーション(GX)・
海外事業を拡大します。

取締役 執行役員常務
インダストリー事業本部長
鉄谷 裕司

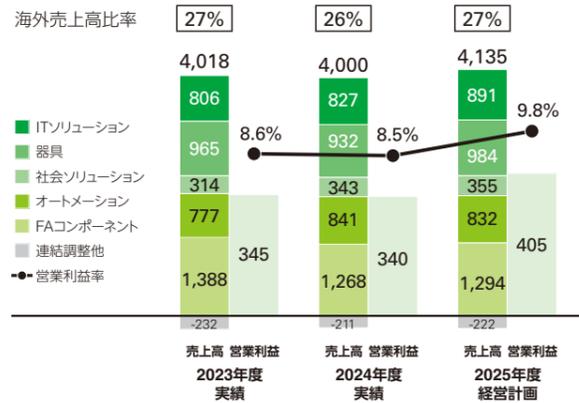
市場動向と事業機会

コンポーネントの市況は緩やかな回復を見込み、プラント・システムは横ばいを見込んでいます。

サブセグメント	市場動向と事業機会
コンポーネント	FAコンポーネント 国内は、前年度から半導体製造装置を中心に緩やかな回復を見込みます。海外は、米国の関税影響などにより不透明なもの、アジア・インドを中心に回復し、全体で横ばいです。
	器具 国内の機械セットメーカー市場は緩やかな回復を見込みます。受配電市場は横ばいです。海外は、中国で不動産不況によるエレベータ業界向け需要の減少、米国・アジアで半導体関連市場の緩やかな回復を見込みます。
プラント・システム	オートメーション 国内は、GX、デジタル化、BCPを中心に鉄鋼、化学、港湾分野で省エネ・老朽化・保全への投資が継続します。海外は、インドは堅調なもの、アジアは鉄鋼分野などで需要減を見込み、全体で横ばいです。
	社会ソリューション 放射線機器分野は、第7次エネルギー基本計画で示された原子力最大活用の方針により、再稼働・廃炉が加速する見通しです。鉄道分野は、継続的な更新需要、船舶・港湾分野は、GXに向けた電化の投資は進むものの、全体で横ばいです。
	ITソリューション デジタル需要の増加に伴い、IT投資は堅調に推移します。文教では、教育ICT政策の全国セカンドGIGA整備が進行します。

業績概況

業績推移 (億円)



※ 2023年度実績：2025年度の事業組替を反映して表示(簡易的な事業組替により算出した参考値)
※ 2024年度実績：2025年度の事業組替を反映して表示

2024年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> プラント・システムの売上・利益拡大 インドでの事業拡大 グローバル商材の開発・展開
2025年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンのグローバルオペレーション 海外事業・GX事業の更なる拡大 利益体質の更なる強化

2024年度は、素材産業向けプラント・システム案件の需要が堅調に推移したものの、FAコンポーネント事業における低圧インバータを中心とした在庫調整、需要減により、売上高は対前年度18億円減少の4,000億円となり、営業利益は対前年度5億円減少の340億円となりました。

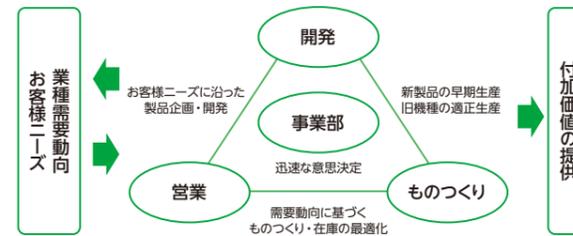
2025年度は、コンポーネント分野の新製品投入による拡販、収益力向上、器具、ITソリューション事業の需要増加を主因に、売上高は対前年度135億円増加の4,135億円、営業利益は対前年度65億円増加の405億円、営業利益率は9.8%を計画しています。

重点施策

コンポーネントの製販一体化による体質強化

2025年度から営業・開発・ものづくりと事業部が一体となった組織を構築して経営のスピードアップを図ります。需要予測精度の向上を図るとともに、お客様ニーズに沿った製品企画や高付加価値商材の早期開発、最適なものづくりオペレーションを迅速に意思決定していきます。これらの取り組みを通じてお客様へ高付加価値商材を提供するとともに、新製品売上高の拡大、在庫の最適化、不採算機種の統廃合による原価低減などを進め、収益体質を強化させていきます。

コンポーネントの製販一体化を通じた収益力向上



海外事業の拡大

オートメーション事業では、グローバル商材の開発・拡充により海外事業を拡大していきます。2024年度に発売した次世代産業用低圧インバータは鉄鋼や港湾クレーンシステム向けを中心に省スペース化、高効率化を評価いただき、納入実績が増加しています。2025年度はコンプレッサやコンベア向けなどに次世代高圧インバータを投入し、さらに、新たな分野として空気貯蔵、タービンの電動化向けなどに大容量水冷高圧インバータを展開します。省エネ、高信頼性といった価値を訴求し、国内で培ったエンジニアリングノウハウを現地人財に継承してシステムの事業拡大に取り組みます。

グローバル商材



FAコンポーネント事業では、インドでスマートメータ事業に新規参入します。インドでは、国策としてスマートメータの設置が進められているものの、現地競合他社には品質と生産能力に課題がありました。当社は国内で培った設計ノウハウを活用し、自動化生産が可能な製品構造設計を通じて安定した生産能力を確保。さらに国内で品質確認済の部品を採用し、全自動化で属人要素を極小化した高い品質を強みに新規参入していきます。今後は、BIS(インド標準規格局)認証や高品質を担保しながら置き換



インド向けスマートメータ

えが可能な部品の現地化を進めることで、コスト競争力を一層高め、売上、利益の拡大に努めていきます。

器具の売上拡大と体質強化

機械セットメーカー市場には、新型電磁開閉器 SC-NEXT への切り替えを加速するとともに、半導体製造装置向け需要の刈り取りを図ります。受配電市場にはデータセンター(IDC)、工場建築案件への新規受注活動に注力します。また、カーボンフットプリント需要に向けた電力監視機器などで受注促進を図っていきます。

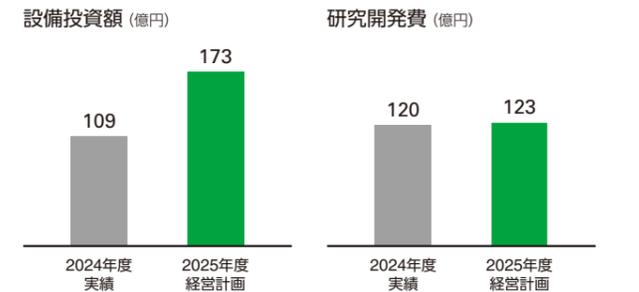
平行してデジタル技術を活用した生産現場の体質強化に取り組みます。SC-NEXTの全自動組立ラインにMESを構築し、現場データの自動取得、生産ライン解析システムの実現により原価低減と生産性の向上に取り組みます。

GX 需要獲得に向けた重点開発

IDCのAIサーバ冷却などに適用するエジェクタ冷却機、工場の排熱を利用して高効率に蒸気を生成できる蒸気発生ヒートポンプの熱商材など重点的に開発を進めていきます。中長期的な競争力の強化に向けて、モビリティ商材、海外向け放射線機器などの新商材開発を通じて、将来に向けた事業拡大を目指します。



設備投資・研究開発



※ 研究開発費はテーマに応じてセグメントに分類したもので、決算短記記載の数値とは異なります。

主な設備投資計画

- モビリティ分野向け商材、スマートメータ、熱商材の生産設備
- 器具事業商材の組立自動化

主な研究開発計画

- グローバル商材 (サーボ、高圧インバータ、放射線機器など)
- プラットフォーム開発 (低圧インバータなど)
- GX関連商材 (次世代電力機器、熱商材、モビリティなど)